

オープン・コム

No.14
2006.1

Open Com



Contents

- 02 初期臨床研修を終えるにあたって
- 05 禁煙外来・禁煙教室のご案内
- 06 スポーツ医学センター
- 08 部長紹介
- 10 トピックス
- 11 トピックス・患者相談室より
- 12 当病院の活動内容を掲載している記事
- 18 患者情報室だより
- 19 産科オープンシステム登録医・助産院のご紹介
- 20 登録屋さんこんにちは
- 22 各種教室
- 23 公開講座
- 24 大阪厚生年金病院のご案内

初期臨床研修から後期専門研修に向けて

平成 16 年から始まった新医師臨床研修制度の一期生延べ 18 名（当院管理の 12 名を含む）が、3 月末で研修修了認定を受け、新たに医籍へ登録される見込みです。

この間、研修中断や未修了者が皆無であった事は、全研修医の研鑽は無論のこと、日常診療で手いっぱい院内及び協力施設（地域医療・精神神経科）の指導医各位の強い責任感・使命感に負う点が大であり、プログラム責任者としてこの紙面をお借りして厚く御礼を申し上げます。

この新制度には、研修内容と期間・専任指導医の確保・研修医の労働者性と研修性検証をはじめ解決すべき問題点は多いのですが、3 年後の見直しは現体制の維持・拡充に努めねばなりません。

更に、約半数の研修医（公募を含め 13 名程度）が引き続き当院での後期専門研修を自主的に選択してくれた事は喜ばしい反面、当院の教育上果たすべき責任・役割が従前以上に重くなった事を全職員が心に銘記してもらいたいと思います。

即ち、プライマリケアの修得からエキスパートとしての専門的知識・技量の修得への移行が円滑に行われる様、各診療科には効果的なプログラムと指導体制の確立を、又研修医各位にはスペシャリストとして可及的早期の一念発起を切望しています。



副院長
山崎 芳郎

大阪厚生年金病院の理念

1. 高度で安全な医療を目指します。
2. 患者様の立場に立って、心温まるケアに専念します。
3. 近隣のかかりつけ医と連携し、地域の医療と福祉を推進します。
4. 人を癒し、人を活かす職場であることを誇りとします。

看護部の理念

1. 看護師は、人間の生命と、人間としての尊厳および権利を尊重いたします。
2. 看護師は、人々の健康の増進、疾病予防、健康回復、苦痛を軽減することにおいて責任をもって看護活動を行います。
3. 看護師は、地域社会と連携を持ち、住民のニーズにあった看護を提供いたします。
4. 看護師は、常に看護水準を確認し、看護サービスの質的向上を図り、可能な限り高度な看護を提供いたします。

初期臨床研修を終えるにあたって

初期研修 2 年目、12 名全員をご紹介します



池澤賢治 医師
(大阪大学出身)

スーパーローテート 一期生

スーパーローテート 一期生ということで不安も大きかったのですが、各科の先生方にあたたかく接していただき感謝しています。救急などで幅広い疾患の診療を経験できたことは、今後の専門診療に進む上で非常に有意義でした。今後も頑張っていきたいと思いをします。

スーパーローテート(方式)

総合診療(方式)。卒後 2 年間の初期研修において、内科、外科、小児科など基本的な診療科を幅広く経験する研修内容。



大浦淳史 医師
(大阪大学出身)

初期研修は当直にあり

私は初期臨床研修として一次・二次救急当直を研修の主題としました。当院では救急部の先生方による指導体制が整っているため、内科、外科等のローテートで学んだことをスムーズに実践の場に移せたと考えています。また、地域医療では開業医の先生方にお世話になり、大学では知りえない地域での医師に対するニーズを知ることができました。初期研修制度には賛否両論がありますが、私は新研修制度を経験出来てラッキーだったと考えています。



大橋直紹 医師
(川崎医科大学出身)

大阪厚生年金病院での初期臨床研修を終えるにあたって

2 年間の必修科、選択科のローテート研修も残すところあとわずかになりました。今振り返れば、多数の先輩医師の方々から時に厳しく、時に優しく熱心なご指導をしていただいたことは、何物にも代えがたい財産になったと思います。その財産を本当の意味で自分の糧にできるかどうかは今後の自分自身の研鑽次第だということを胸に留め、これからもがんばっていききたいと思いをします。



小野亜紀子 医師
(大阪大学出身)

初期臨床研修を終えて

初期臨床研修はとても充実した 2 年間でした。スーパーローテート一期生ということもあり、先生方も私達も戸惑うことが度々ありましたが、節目節目に先生方との意見交換の場を作ってください、調整しながら研修させていただいたことが良かったと思っています。複数の科を回ることで、それぞれの科の視点から疾患を診ることができ、今後臨床を続けていく上で貴重な経験をさせていただきました。これからもこの経験を生かして頑張っていきたいと思いをします。



金光禎寛 医師
(川崎医科大学出身)

臨床研修を終えるにあたって

私は1年目を大学病院で、2年目を大阪厚生年金病院で研修させていただきました。学生時代は治療法を導き出せば終わりでしたが、医師になり、治療を開始してから生じてくる問題点を解決することがいかに重要かということを知りました。これから専門研修へと移行していきますが、これまで指導していただいたことや、指導医の先生方の見習うべき点を心に留めて、よりよい医師を目指して医療に携わっていきたいと思います。



木村真聡 医師
(大阪大学出身)

初期臨床研修を終えるにあたって

初期臨床研修を終えるにあたって、今までご指導をいただいた先生方にまず、感謝したいと思っております。1年目は大阪大学医学部附属病院で、2年目は大阪厚生年金病院で研修させていただいて、多くのことを学べて良かったと思っております。今後も良き医師となるべく研鑽を積みたいと思っております。



杉本曜子 医師
(大阪大学出身)

二年間の研修生活

この二年間はほとんど毎日を病院で過ごしたような気がします。最初はとまどいと驚きの連続でしたが、少しは周りが見えるようになったと思います。まだまだ頼りなく未熟な研修医ですが、今まで続けて来られたのも熱い指導をして下さった先生方やまわりのスタッフ、同僚、患者さんたちの励ましのおかげだと思います。ありがとうございました。



玉岡倫子 医師
(大阪市立大学出身)

初期研修を終えて

当院での2年間の初期研修ももうすぐ終わろうとしています。私がこの病院で研修してよかったと思うことは、主な疾患の診療を幅広く経験することができたこと、またそれぞれの専門の先生方にしっかりと指導していただけたこと、そしてどの科の先生方にも気軽に相談にのっていただけたことです。2年間はあっという間で、まだまだ自信をもってできることは少ないですが、大阪厚生年金病院で得た経験を基に一步一步前進していきたいと思っております。

初期臨床研修を終えるにあたって



花澤康司 医師
(大阪市立大学出身)

臨床研修を終えるにあたって

臨床研修が必修化されて初年度、手探りの状態で医者としての第1歩を踏み出しました。今振り返ると恥ずかしい質問の数々を上級医に投げかけ、その場ではわかったふりをしたものの、後で必死に本をめぐっては自分の知識のなさを嘆くことがたびたびでした。その状況は今でも大して変わりませんが、今までやってこられたのは上級医の諸先生方の寛大なお心によるものでしょう。様々な診療科を回ることによって視野が広くなり、自分にとって価値ある2年間になったと思います。



別府直仁 医師
(兵庫医科大学出身)

二年間の研修を振り返って

研修医になり半年ほどすると点滴がうまくできるようになりました。ちょっとは役にたてるかと嬉しかったのを覚えています。その間にも何人もの患者様にご指導いただいたというか、本当にご迷惑をかけたという気持ちと、有難うございますという感謝の気持ちで一杯です。あと少しで後期研修に移り、自覚もさらに高めていかなければなりません。本当に大切なのは何かという事を常に問いながら、ご指導いただいた患者様、諸先生方、病院関係者の方々に少しでも恩返しができるようがんばりたいと思います。



山上喜由 医師
(大阪市立大学出身)

初期臨床研修を終えるにあたって

私は、2年間大阪厚生年金病院で初期研修を行いました。この病院の良い点は、医師同士の縦横のつながりが非常に良いことで、そのため自分の思い描いていたような充実した研修が受けられたと思います。今後もこの経験を生かすことができると考えています。



渡邊祐介 医師
(川崎医科大学出身)

初期臨床研修

新研修制度が始まり、2年間で様々な診療科や地域医療など多くの勉強や経験をすることができました。指導医の先生方から医療に対する姿勢や多面的な思考力等はもちろんのこと、患者様、コメディカルの方々との接し方など、医師としての基礎になる部分を教えていただきました。将来専門とする科以外の経験も大切に、今後の後期専門研修に活かし、また気持ちを新たに頑張っていこうと思います。



禁煙外来・禁煙教室のご案内

タバコを吸うと『ストレス解消になる』、『ホッとする』、『落ち着く』、『集中できる』、『気分転換になる』とお考えの方、本当にそうですか？ 何かだまされていませんか？ 当院の禁煙外来・禁煙教室では、タバコのうそ・トリック（わな）をお教えし、皆様の禁煙のお手伝いを致します。

タバコを止めたいと考えている方！

ご主人、お子様、ご両親にタバコを止めてもらいたいと考えておられる方！

当院の禁煙外来・禁煙教室を是非、ご活用下さい。

禁煙外来

診 療 科	内科
診 療 日 時	毎週火曜日
診 療 時 間	午後 2 : 00 ~ 5 : 00 (完全予約制) お1人様 15分
担 当 医 師	安田哲行
診 療 内 容	個別指導、呼気一酸化炭素濃度測定、(パッチ製剤の処方)
お申し込み方法	地域医療連絡室 電話(06)6441-5451(内線2158) 当院に通院加療中の方は内科外来にてご予約承ります。
問い合わせ先	内科外来 電話(06)6441-5451(内線2274)

禁煙教室

実 施 日	第1・3金曜日
診 療 時 間	午後 4 : 00 ~ 5 : 00
場 所	第1会議室(2F 泌尿器科外来前)
内 容	煙草のうそ・トリック(わな) やめる方法
費 用	無 料
お申し込み方法	特にありません。自由参加となります





大阪厚生年金病院附属 スポーツ医学センター

ご案内 今回は担当の運動指導員が、当センターで指導している
体操の一部をご紹介します。

ボールを使った運動



(モデル/スポーツ医学センター運動指導員 田中健毅、浅田千鶴)

当センターではこのような体操をはじめ、多くの運動・個人の適応に合わせて、丁寧に指導いたしております。ご興味を持たれた方は奮ってご入会ください!!

プライベート・レッスン

あなたにあった運動を処方し、マンツーマンで指導します。
症状の重い方や、他の人と一緒ではついてゆけそうにない方には最適です。

グループ・レッスン

3人～6人の少人数制の教室です。
症状の軽い方や運動に慣れられた方に最適です。

フィットネスジムでの セルフ・エクササイズ

個々にあった運動メニューの作成と指導をします。
プライベート・レッスンを受けた上で、無理のない範囲で、ご自身で運動を継続して頂きます。

センター利用時間 月～土曜日 9:00～17:00

運動指導が行われる
対象疾患

- 肥満や糖尿病、高脂血症などの生活習慣病、循環器疾患。
- 腰痛、膝痛、肩こり、五十肩、変形性股関節症、スポーツ障害などの整形外科的慢性疾患。
- 妊婦さん、骨粗鬆症、その他各科からの依頼があった慢性疾患。

受付窓口 スポーツ医学センター受付（別館1階）

申し込み方法 完全予約制 受付にて申し込み用紙に必要事項をご記入の上、指導日の予約を取っていただきます。

窓口・電話受付時間 月～土曜日 9:00～17:00

料金 有料（詳しくは、センター受付にお問い合わせください）

お問い合わせ

スポーツ医学センター受付
TEL: 06-6441-5451（内線3101）
E-mail: spo-cen@okn.gr.jp

マタニティー・フィットネス

妊産婦さんむけの運動です。
楽しく身体を動かし、心身と
もにリフレッシュ！ 妊娠中の
体調を整えます。

ヘルシー・エージング

シニアのための健康教室です。
レクリエーションスポーツや
筋力強化運動、ストレッチ
など多様で無理のない運動
を行います。

スポーツ医学センター

グループ レッスンの ご案内

MOTTO プラス

とくに病気や痛みはないけれど、
身体がだるい！ 疲れやすい！
身体の“たるみ”や“肩こり”、
“姿勢のくずれ”が気になる！？
そんなお悩みを解消する教室です。

ストレッチ教室

ストレッチ体操を中心に行う
教室です。今まで運動経験
のない初心者の方、軽めの
運動が好きな方、柔軟性を
高めたい方などが対象です。

腰痛体操教室

腰痛の予防と改善を目的とし
た教室です。腰周囲のストレ
ッチにより筋肉の柔軟性を高め、
さらに腹筋・背筋などの筋力
強化運動などを行います。



今野 英一

内科(生活習慣病・人間ドック担当)

専門分野 糖尿病・高脂血症・動脈硬化症などの生活習慣病、代謝・内分泌疾患

研究分野 臓器別インスリン抵抗性の意義、インスリン抵抗性改善剤による血管障害治療効果等

●経歴(略歴)

1983年 大阪医科大学医学部卒業
1983年 市立貝塚病院内科
1986年 大阪大学第一内科(米国国立衛生研究所留学)
1993年 大阪府立総合医療センター消化器代謝内科
2005年より現職

●診療にあたっての信条、モットー

生活習慣病、とくに糖尿病を中心に診療しています。「血管を元気に健やかに生きる」を治療のモットーとし、患者様の、未来をふくめた生活の質を高めることを最優先に考えています。

●メッセージ

「1泊2日検査入院」、合併症精査と知識アップを行う「1週間入院」などの、専門的治療を行っています。外来では適時、インスリン導入、患者様に適したライフスタイル・経口剤の選択を日々検討、実践しています。



春日井 務

病理科

専門・研究分野 乳腺、膵臓、リンパ節の病理診断

●経歴(略歴)

1981年 大阪大学医学部・医学科卒業
1982年 日本生命済生会附属日生病院外科
1984年 大阪府立病院外科
1986年 大阪府立成人病センター外科
1988年 大阪大学医学部文部教官助手
1995年 大阪大学医学部文部教官講師
1995年 大阪府立成人病センター病理検査科
2002年より現職

●診療にあたっての信条、モットー

「すべては患者さんのために」をモットーとして日々の勤務を行っています。病院が病理科に求めているものは、正確かつ迅速な診断であると私は認識しています。その要求に対し、病理科は医師と技師が一同となって働いています。

●メッセージ

「病理医」とは患者さんから採取した材料を顕微鏡を使って良性のものか悪性のもの(癌)かを最終的に診断する医者です。私が専門とする乳腺の病気は特にこの良悪の診断が難しい分野だといわれています。実際、他の病院で癌といわれてその材料を見直したところ癌でない場合も少なからずあります。開業医・診療所の先生も含め、一般の患者さんであっても少しでも疑問に思うようなことがあればお気軽に大阪厚生年金病院を紹介および来院してください。



酒井 範子

臨床検査科 内視鏡センター

専門分野 上下部消化管内視鏡検査、食道静脈瘤結紮術、消化管出血の止血術、上下部内視鏡的粘膜切除術など

●経歴(略歴)

1986年 兵庫医科大学医学部卒業
内視鏡学会指導医、消化器病学会認定医、内科学会認定医、産業医

●診療にあたっての信条、モットー

上下部内視鏡検査に際して、できる限り苦痛が少なく、かつ、病変の早期発見ができるように努力しています。治療に関しても、安全に、できる限り内視鏡的治療で治療できるように心がけています。

●メッセージ

検査に関しましては、できる限りお待たせしないように迅速に対応させていただきます。治療に関しましては同様です。治療の中で、粘膜切開剥離法の導入に取り組んでいます。



佐々木 達哉

内科(循環器担当)

専門分野 心不全の病態・診断・治療、虚血性心疾患のカテーテル治療

●経歴(略歴)

1984年 大阪大学医学部卒業、同附属病院第一内科
1985年 桜橋渡辺病院循環器内科
1988年 大阪大学大学院医学研究科博士課程(多田道彦教授)
1992年 国立循環器病センター 内科心臓部門
等を経て、2001年より現職
日本心不全学会評議委員、日本心臓血管インターベンション学会指導医、日本心臓病学会特別正会員(FJCC)、大阪市立大学臨床教授

●診療にあたっての信条、モットー

医療は共同作業であると考えております。医師と患者、医師とコメディカル、医師同士、それらが有機的に働いてこそ良い医療ができると思います。

●メッセージ

当直ないし on-call 体制で、急病に備えて 24 時間、循環器内科医が待機しております。また心エコー検査や運動負荷検査をかかりつけ医からオーダーしていただくと、詳細な所見をつけて返送いたしますので、ご利用ください。



塚本 文音

乳腺・内分泌外科

専門分野 乳癌、甲状腺癌の診断、治療

研究分野 乳癌の遺伝子診断

得意分野 乳癌の診断、手術、薬物療法

●経歴(略歴)

1988年 京都府立医科大学医学部卒業
1994年 大阪大学大学院医学研究科博士課程修了
1998年 大阪大学医学部腫瘍外科
2002年 大阪厚生年金病院外科
2005年より現職
日本乳癌学会乳腺専門医、検診マンモグラフィ読影認定医

●診療にあたっての信条、モットー

個々の患者様の状態、状況に応じた最善の診療を行うよう常に心がけています。

●メッセージ

ステレオガイド下マンモトーム生検、内視鏡手術、センチネルリンパ節生検など最新かつ患者様のより負担の少ない乳癌の診断・治療をいち早く取り入れ、行っております。2005年の乳癌の手術件数は約200例です。



藤田 敏晃

脳神経外科(脳卒中担当)

専門分野 脳卒中、脳腫瘍の外科

研究分野 低体温と脳虚血、神経再生

●経歴(略歴)

1983年 広島大学医学部卒業
1993～1995年 ドイツ マックスプランク研究所留学
大阪大学附属病院、大阪府立成人病センター、大阪労災病院、市立豊中病院、等の脳神経外科勤務
2004年より現職
脳神経外科専門医、脳卒中専門医、救急認定医

●診療にあたっての信条、モットー

患者様には優しく、手術の適応は厳しく。

●メッセージ

脳卒中センターとして専門医が常時在院しています。
24時間、366日救急対応ができる体制をとっています。
脳卒中に対する迅速な治療や予防・啓蒙に力を入れています。
特に治療に関しては世界水準を基本にそれぞれ患者様にあったプラスアルファの治療を提供しています。



細野 昇

整形外科(脊椎外科担当)

専門分野 脊椎外科

研究分野 頸髄症の病態、椎弓形成術、脊椎転移

得意分野 頸椎腰椎手術、内視鏡脊椎手術

●経歴(略歴)

1985年 大阪大学医学部卒業、整形外科入局
1989年 大阪大学医学部附属病院整形外科
1992年 大阪府立成人病センター整形外科
1995年 関西労災病院整形外科
2001年 大阪大学医学部附属病院整形外科
2005年より現職

●診療にあたっての信条、モットー

成書にある知識にとらわれることなく患者さんの訴えをよく聞き、何故なのかを常に考えるようにしています。
患者さんの一生を預かるといえば大げさかもしれませんが手術に当たっては毎回新たな気持ちで臨んでいます。

●メッセージ

かかりつけ医の方々には、日頃より病診連携でご指導頂きありがとうございます。赴任してやっと2年ですが、年金の顔としての整形外科のさらなる充実に微力を尽くす所存です。
新規治療法も導入していく予定ですのでよろしくお願ひ申し上げます。



弓場 健義

外科(消化器外科担当)

専門分野 消化器外科、内視鏡外科

研究分野 胃癌、食道癌、逆流性食道炎、アカラシア

得意分野 胃癌に対する標準的手術、腹腔鏡下手術および胃全摘後空腸U字間置再建術。食道癌に対する標準的手術、胸腔鏡補助下手術。逆流性食道炎ならびにアカラシアに対する腹腔鏡下手術。

●経歴(略歴)

1981年 大阪大学医学部医学科卒業
1981年 大阪大学医学部附属病院 第一外科
1982年 国立呉病院外科
1985年 大阪大学医学部第一外科
1986年 済生会富田林病院外科
1986年 大阪大学医学部第一外科
1990年 大阪医療刑務支所外科
1992年 ウェストミット病院移植科(シドニー、豪州)
1994年 大阪警察病院外科
1997年 大阪大学医学部第一外科助手
2001年より現職 外科学会専門医・指導医、消化器外科学会専門医・指導医、内視鏡外科学会技術認定取得者、消化器病学会専門医・指導医、胃癌学会評議員、臨床外科学会評議員、内視鏡外科学会評議員

●診療にあたっての信条、モットー

患者様の目線に立った、解りやすい診療を行なう。診療とくに手術、化学療法においては世界の標準治療を念頭において、各疾患の治療ガイドラインに沿いつつ、かつ患者様一人一人に合わせたオーダーメイド治療を行なうことをモットーとしている。

●メッセージ

かかりつけ医の先生方へ：いつでも気軽にご紹介下さい。24時間、365日対応させていただきます。当院での診療が終わりましたら、すみやかにかかりつけ医の先生方の元に患者様に戻っていただく予定です。
患者様へ：患者様にできるだけ解りやすく、親切的な診療をさせていただきます。十分に説明させていただき、十分に納得していただいたうえで診療させていただきます。24時間365日対応させていただきますので、少しでも調子の悪い時など気軽に受診していただければ結構です。

第9回股関節教室開催報告

月日の経つのは早いもので平成13年2月に第1回股関節教室を開いてから4年余りが経過し、今回は平成17年6月5日に第9回の股関節教室を開催致しました。平成15年より会場をグランキューブ大阪・大ホールに固定して500人規模の患者様にお集まり頂いております。小生の講演以外にもリハビリテーションの療法士・看護師・栄養士の方々にミニレクチャーをお願いして患者様の股関節（特に人工股関節）に関わる諸問題に対する理解を深めて頂いています。今年は「人工股関節の再置換手術について」をテーマに選び、定期健診による「人工股関節の緩み」の早期発見・早期治療の重

要性について解説致しました。約2時間30分にわたる講演の後、患者様からの活発なご質問やご意見を頂いて閉会いたしました。

（整形外科人工関節担当部長：増原建作）



第9回「つながり」(大阪厚生年金病院乳癌患者会)開催報告

2005年11月5日（土）に開催された第9回「つながり」では、乳腺・内分泌外科の塚本、島津による乳癌の化学療法と手術の講演の後、今後の患者会の運営形態に関して参加者全員で意見交換が行われました。現在、プレストチームが中心となって「つながり」が運営されております。患者様の中からは、この運営にもっと患者様自身が参加すれば、より良い患者会を作っていけるのではという意見や、患者様同士が集まって活動できるスペースが院内にあればという声も聞かれました。その他、ご意見をアンケート用紙に書いていただいて閉会となりました。このようなご意見を基に、今後さらに患者様中心のより良い患者会にしていけるよう努力していこうとプレストチーム一同考えております。（乳腺・内分泌外科：島津研三）



NICU(新生児センター)第2回同窓会開催報告

10月15日の土曜日、33家族100名以上のご参加を頂き、NICU（新生児センター）を退院されたお子様とご家族の同窓会を開催いたしました。NICUに赤ちゃんが入院した同じ立場のご家族が交流し、楽しい一時を過ごして頂ければと昨年からは開催しています。親子遊び、軽食を囲んでの歓談、栄養士からの子どもの食事のお話、絵本の展示・紹介、個別相談などの内容で、着ぐるみのスタッフも登場し、なごやかに行うことができました。（小児科NICU担当部長：高田慶応）



子どもたちと一緒に「おおきなかぶ」

第8回大阪厚生年金病院同窓会の開催

去る平成17年10月1日の土曜日に第8回の大阪厚生年金病院同窓会を開催いたしました。総勢で151名の参加があり、懐かしい方々との会話も弾み、あっという間に予定の2時間が過ぎてしまいました。本年度は、平日の開催から土曜日の開催へと変更いたしました。また、昨年度までは隔年の開催としておりましたが、OBやOGの方々との親睦を深めるためにも今後は毎年開催する予定としております。

（庶務課）



当院での整形外科初診・再診の取り扱いについて

平成18年1月より、整形外科の初診は原則として他医療機関からの紹介患者様についての診療とさせていただきます。

ご受診の際は、先ずかかりつけの先生にご相談いただき、先生を通じてご予約いただきますようお願いいたします。

また、紹介状をお持ちであれば患者様からの予約もお取りできますので右記までご連絡ください。

TEL(06)6441-5463 直通

(土日祝日を除く am8:30~pm5:15)

なお、予約をされていない方は、紹介状をお持ちでも診療開始がかなり遅れることがありますのでご了承くださいませようお願いします。

再診につきましても、同じくすべて予約制とさせていただきます。

当院が「大阪府男女いきいき・元気宣言」事業者に登録されました

登録事業者の医療機関としては3施設目で、200床を越える大きな公的急性期病院としては初めての登録となります。

この「大阪府男女いきいき・元気宣言」は、男女が互いの違いを認め合い、互いの生き方を尊重しながら、社会の対等な構成員として協力し、責任を分かち合い、それぞれが自らの意思で自由に生き方を選択し、個性と能力を十分に発揮することを目的として、大阪府が平成14年に制定した「大阪府男女共同参画推進条例」に基づくものです。

この登録の対象となる事業所は、次のような取り組みを意欲的に進める企業・団体等となっており、現在、大阪府下で64の事業所が登録されています。

女性の能力を活用するための取組

仕事と家庭・その他の活動を両立できるようにするための取組

男女がともに働きやすい職場づくりのための取組

その他、働く場における男女共同参画を推進する取組

当院は、時差出勤やフレックスタイム制など個人の状況に応じた柔軟な勤務体制の導入や病児保育室の設置、子育て中の女性職員への職員駐車場の優先割り当てなど、仕事と家庭の両立支援に積極的に取り組んでいること、また、出産・育児を機に辞める女性医師が多い中で、常勤職員のみならず、臨時職員にまで上げた子育て中の女性医師が働きやすい環境づくりを推進していることなどが認められました。



2005年6月から9月末までの投書箱「皆様の声」に寄せられた件数は25件で、患者相談室に寄せられた相談等は38件です。その中の苦情及びご意見の一部をご紹介します。

Q 入院期間に付き添いに来る人の駐車料金の割引はないのですか。

A 入院患者様の付き添いの方は、病棟で駐車券にスタンプを押してもらいます。その駐車券を医事課または守衛室にご提示いただき割引の手続きを受けてください。

Q 外来の採血結果(末梢血と生化学検査)に日本語表示と正常値を書いてほしい。

A ご不便をおかけして申し訳ありません。2005年9月から採血結果は日本語表示と参考値を記載することにしました。

Q この夏、外来で冷房が効きすぎ寒くなりました。適切な温度管理をお願いします。

A 皆様にはたいへんご迷惑をおかけしました。今後とも外気温との調整を図り、空調管理を徹底します。

Q 診察予約日の変更は、患者への連絡もれがないようにしてほしい。

A 患者様にはご迷惑をおかけしました。今後このようなことがないよう医師や担当者から電話連絡及び通信手段(葉書)等の方法でチェックし、徹底を図ります。



ヘタすりゃ地元医療の切り捨てに…

「整理合理化」に どうするセンセイ!?

選挙区や周辺に厚生年金・社会保険病院を抱える国会議員にとって、整理合理化計画は地元医療の切り捨てにもなりかねない、政治生命をも左右する重大問題。支持者の生活に直結するだけに、郵政改革のように諸手を挙げて「どうぞ」というわけにはいかない。そうかと言って反改革の烙印を押されたら、次の選挙で刺客の餌食になりかねない。地元に関りかかるともされない医療改革の火の粉をどう振り払うのか――。衆議院厚生労働委員会のメンバー4人に聞いた。



地域医療は
どう変わる?

厚生年金・社会保険病院 整理合理化の 衝撃度

Person 3

社会的役割を評価して 高い整形技術やリハ機能を維持

福島 豊氏(公明 衆・大阪6区、当選5回、元三葉京都市病院内科医長)

昨年3月、与党の年金制度改革協議

会で年金福祉施設をめぐる扱いについては、①年金資金を施設整備費や委託費に投入しない、②売却益を年金資金に充てる、③業務内容や役員報酬、退職金を見直し、整理合理化を徹底する――ことなどで合意した。厚生年金病院に関しては今年度中に各施設の経営状況を明らかにし、来年度中に整理合理化計画を策定、地方自治体や民間に売却する方針で一致した。

ただし今年2月、与党の社会保障政策会議で地域医療への影響を考慮することや、譲渡する際は病院機能の公益性を担保することなどの条件を決めた。これらの合意事項に沿って、6月の通常国会で「独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理構築法案」を可決する際、①整理合理化計画は地域の医療体制を損なうことがないよう十分検証して策定する、②各施設を売却する際は地元自治体とも事前に相談する、③施設従事者の雇用に十分配慮する――ことなど4項目を盛り込んだ付帯決議を採択した。

病院は他の施設と異なり、単純に売却すればすむというものではない。地域での役割や公的医療を担っている現状などを考慮しなければならぬ。国民の生命・生活に直接かかわる施設だけに、本来は整理合理化の対象から外すべきだ。しかし、施設整備に年金資金を充当してきたという点では他の施設と同じなので、病院とはいえ議論のから外れなかった。

厚生年金病院はハイレベルな整形やリハビリを行っており、地域住民から厚い信頼を得ている。このため存続を求める声は多く、地元の大阪厚生年金病院も含め、全国から100万人を超える署名が尾辻秀久・前厚労

相に届けられた。付帯決議で示したとおり、こうした地域住民の声を踏まえ対応すべきだ。今後さらに進展する高齢化率を考えると、社会的にも厚生年金病院の高い整形技術やリハ機能は欠かせない。一方、医師の立場で考えると、病院グループの機能も重要だ。たとえば、病院間の人事交流は人材育成にとっても役立つ。

年金資金の損失を防ぐという大儀

は十分に理解できるが、医師の育成や地域医療への貢献など、厚生年金病院が果たしている社会的役割も評価すべきだ。一方で今後は年金資金を充てることができないため、経営面では経営形態を独立した法人にして、たとえば病院債を発行し自前で資金を調達したり、あるいは日赤や済生会のようなグループ組織にすることを視野に入れてもいいだろう。

いずれにしても、今後は厚生年金病院を公的病院として何とか残す方向で検討していかなければならない。



【いい病院】【整形外科編】

人工関節置換術ランキング

順位	病院名	所在地	手術数
1位	えにわ病院	北海道恵庭市	683
2位	佐賀大学病院	佐賀市	554
3位	豊見城中央病院	沖縄県豊見城市	509
4位	海里マリノ病院	高知市	408
5位	玉造厚生年金病院	松江市	380
6位	大阪厚生年金病院	大阪市福島区	373
7位	富永病院	大阪市浪速区	366
8位	日本大学板橋病院	東京都板橋区	364
9位	(国)大阪医療センター	大阪市中央区	348
10位	兵庫県立ハビリテーション中央病院	神戸市西区	332
11位	山形済生病院	山形市	325
12位	福岡整形外科病院	福岡市南区	311
13位	市立吹田市民病院	大阪府吹田市	288
14位	大阪労災病院	大阪府堺市	288
15位	北海道整形外科記念病院	札幌市豊平区	282
16位	熊本整形外科病院	熊本市	274
17位	海老名総合病院	神奈川県海老名市	261
18位	坂下厚生総合病院	福岡県津屋下町	260
19位	聖隷三方原病院	静岡県浜松市	256
20位	九州労災病院	北九州市小倉南区	237
21位	はやしだ整形外科病院	鹿児島県日置市	233
22位	熊本機能病院	熊本市	224
23位	中電病院	広島市中区	223
24位	関西労災病院	兵庫県尼崎市	216
25位	宮崎県立延岡病院	宮崎県延岡市	211
26位	東京医科歯科大学病院	東京都文京区	209
27位	神奈川県立リハビリテーション病院	神奈川県厚木市	207
28位	東北労災病院	仙台市青葉区	205
29位	函館中央病院	北海道函館市	203
30位	静岡県ウマチ整形外科リハビリ病院	静岡県葵区	201

人工関節置換術ランキング(東京)

順位	病院名	所在地	手術数
1位	日本大学板橋病院	板橋区	364
2位	東京医科歯科大学病院	文京区	209
3位	日本医科大学病院	文京区	164
4位	東京大学病院	文京区	163
5位	日産厚生会玉川病院	世田谷区	162

人工関節置換術ランキング(大阪)

順位	病院名	所在地	手術数
1位	大阪厚生年金病院	大阪市福島区	373
2位	富永病院	大阪市浪速区	366
3位	(国)大阪医療センター	大阪市中央区	348
4位	市立吹田市民病院	吹田市	288
5位	大阪労災病院	堺市	288

医療 一覧 | 医療人リソース | 医療制度 | 文芸・文化 | 最新医療 | 病院の實力

乳がん、増える温存治療

乳がん手術を年60件以上実施した医療機関

※数字は手術件数、温存率(%)の順。「○」はセンチネルリンパ節生検を実施、「△」は試行中、「●」は乳癌再発再発実地施設。

都道府県	病院名	手術数	温存率
三重	三重大	70	50 ●
滋賀	加藤乳癌ク	125	75 ○
	大津赤十字	72	33 ●
	滋賀医大	65	69 ●
	県立成人病セ	60	46 △
京都	乳癌ク児玉外科	234	67
	府立医大	228	92 ●
	京都市第二外科	125	70
	京都第一赤十字	85	52 △
	国・京都医大セ	66	51
大阪	府立成人病セ	272	73 ○
	大阪厚生年金	182	61 ●
	国・大阪医大セ	180	75 ●
	近畿大	178	63 ●
	大阪大	169	29 ●
	関西医大	165	61 ●
	市立橋	122	61 ●
	市立豊中	114	66 ●
	大阪市大	104	53 ○
	大阪市立総合医	100	54 ○
	療セ		
	市立泉佐野	94	77 ●
	府済生会中津	86	58 ●
	大阪医大	85	52 ○
	大阪労災	80	64 △
	東川キリスト教	75	69 ●
	NTT西日本大阪	75	40 ○
	大塚警察	75	44 ●
	東大阪市立総合	72	40 ●
	北野	72	40 ●
	松下記念	62	60 ○
	八尾市立	60	57 ○
兵庫	県立成人病セ	230	66 ○
	関西労災	226	60 ●
	姫路赤十字	128	64 ○
	神戸市立西市民	120	65 ○
	神戸市立中央市民	103	68 ●
	西神戸医大セ	96	90 ○
	県立加古川	82	39 ○
	県立西宮	62	65 ○
	県立尼崎	60	68 △
	国・姫路医大セ	69	45 △
奈良	市立奈良	104	77 ○
	県立奈良	65	72 △
和歌山	県立医大第一外科	110	78 ●
	科		
	さくら乳癌ク	72	75 ●

○「国」は国立行政法人国立病院機構。「セ」はセンター、「ク」はクリニック。数字は2004年1～12月の実績。
〔2006年12月5日 読売新聞〕

乳腺・内分泌外科 『読売新聞 (Web版) 2005年12月5日 (月)』



医療

心臓病と
たたかう

内科治療、高まる技術

内科の上位病院

太字は最高評価(AAA)の病院

病院名	所在地	過程	構造	治療成績	症例数 (1年以内)	死亡数	死亡率 (%)
【北海道・東北】＝8病院							
札幌医科大学	北海道	A	A	A	253	0	0.00
札幌東徳洲会病院	北海道	B	A	A	1950	1	0.05
北海道社会保険病院	北海道	A	B	A	817	0	0.00
岩手医大循環器医療センター	岩手	A	A	A	768	2	0.26
岩手県立中央病院	岩手	A	B	A	1164	0	0.00
仙台厚生病院	宮城	A	A	A	3827	0	0.00
庄内余目病院※※	山形	A	B	A	171	0	0.00
太田西ノ内病院	福島	A	A	A	738	5	0.68
【関東】＝26病院							
土浦協同病院	茨城	B	A	A	1293	1	0.08
自治医大病院	栃木	B	A	A	1225	0	0.00
群馬県立心臓血管センター	群馬	B	A	A	1293	11	0.85
群馬県済生会前橋病院	群馬	A	B	A	716	0	0.00
埼玉医大病院	埼玉	B	A	A	657	3	0.46
自治医大大宮医療センター	埼玉	B	A	A	1437	1	0.07
埼玉県立循環器・呼吸器センター※※	埼玉	B	A	A	1566	5	0.32
千葉西総合病院	千葉	A	A	A	4131	0	0.00
新東京病院	千葉	A	A	A	3470	0	0.00
国保知中央病院	千葉	A	B	A	1566	1	0.06
千葉中央メディカルセンター	千葉	A	B	A	597	1	0.17
東京女子医大病院	東京	A	A	A	1046	1	0.10
N T J 東京日本国東病院	東京	A	A	A	609	1	0.16
心臓血管研究所付属病院	東京	A	A	A	974	0	0.00
順天堂大順天堂医院	東京	B	A	A	1216	0	0.00
駿河台日本大病院	東京	B	A	A	426	2	0.47
帝京大病院	東京	B	A	A	1233	1	0.08
東南大八王子病院※	東京	B	A	A	225	2	0.89
日本大板橋病院	東京	B	A	A	688	4	0.58
新富町病院	東京	A	B	A	1028	0	0.00
武蔵野赤十字病院	東京	A	B	A	878	0	0.00
東大和病院	東京	A	B	A	356	0	0.00
横須賀市立うまろ病院	神奈川県	A	A	A	463	0	0.00
湘南鎌倉総合病院	神奈川県	A	A	A	2902	1	0.03
小田原市立病院	神奈川県	A	B	A	372	1	0.27
関東労災病院	神奈川県	A	B	A	1042	1	0.10
【中部・東海】＝15病院							
富山県立中央病院	富山	B	A	A	810	0	0.00
金沢循環器病院	石川	A	A	A	1023	0	0.00
石川県立中央病院	石川	A	B	A	931	2	0.21
福井県立病院	福井	B	A	A	322	1	0.31

病院名	所在地	過程	構造	治療成績	症例数 (1年以内)	死亡数	死亡率 (%)
長野赤十字病院							
長野赤十字病院	長野	A	A	A	540	0	0.00
県立岐阜病院	岐阜	A	B	A	1665	5	0.30
順天堂大静岡病院	静岡	B	A	A	1457	0	0.00
富士市立中央病院	静岡	A	B	A	582	0	0.00
真西徳島松原センター	静岡	A	B	A	842	2	0.24
愛知県立循環器呼吸器病センター	愛知	A	A	A	1247	1	0.08
名古屋経済会病院	愛知	B	A	A	649	1	0.15
安城厚生病院	愛知	B	A	A	1426	0	0.00
名古屋第二赤十字病院	愛知	B	A	A	2254	0	0.00
トヨタ記念病院	愛知	A	B	A	473	2	0.42
市立四日市病院	三重	A	B	A	1075	0	0.00
【近畿】＝17病院							
大津赤十字病院	滋賀	A	B	A	497	0	0.00
大津市民病院	滋賀	A	B	A	549	1	0.18
三豊京都病院	京都	A	A	A	811	0	0.00
京都市立病院	京都	A	A	A	556	0	0.00
宇治徳洲会病院	京都	A	A	A	1014	0	0.00
落和会西宮病院	京都	B	A	A	506	0	0.00
京都第一赤十字病院	京都	A	B	A	728	5	0.69
国立循環器病センター	大阪	B	A	A	2069	1	0.05
大阪赤十字病院	大阪	B	A	A	754	0	0.00
岸和田徳洲会病院	大阪	B	A	A	1073	1	0.09
大阪警察病院	大阪	B	A	A	944	3	0.32
大阪厚生年金病院	大阪	A	B	A	529	0	0.00
市立豊中病院	大阪	A	B	A	601	0	0.00
兵庫県立循環器病センター	兵庫	A	A	A	1906	1	0.05
神戸市立中央市民病院	兵庫	B	A	A	980	0	0.00
神戸大病院	兵庫	B	A	A	702	1	0.14
和歌山県立医大病院	和歌山	B	A	A	600	0	0.00
【中国】＝5病院							
倉敷中央病院	岡山	A	A	A	4429	10	0.23
市立広島市民病院	広島	A	A	A	1835	7	0.38
広島市立安佐市民病院	広島	A	B	A	727	2	0.28
徳島赤十字病院	徳島	A	A	A	2850	2	0.07
市立宇和島病院	愛媛	A	B	A	818	3	0.37
【九州・沖縄】＝2病院							
済生会熊本病院	熊本	A	A	A	2014	4	0.20
熊本中央病院	熊本	B	A	A	2175	1	0.05

注) 治療成績はP C I 治療の死亡率などの成果。過程は治療の質を高める取り組みの充実度。構造はスタッフや設備などの充実度。得点によりA、B、Cの3段階で評価した(「調査の概要」参照)。症例数は2002年～04年の合計。死亡率は全症例に占める死亡例の割合。※は1年分。※※は2年分の治療成績

「実力病院」日経・日経メディカル調査

日本経済新聞社が「日経メディカル」誌と共に実施した「心臓病治療の実力病院 全国調査」で上位に入った内科系の診療科は、新しい治療技術を積極的に導入、外科と連携して、リスクが少なく患者に適した治療法を

選択する体制を整える。患者の体への負担が小さい経皮的経動脈形成術(PCI)を中心に、高い技術力で治療に当たる「実力病院」の取り組みを採った。

(1面参照)



患者と医者 本で橋渡しし



患者情報室の運営について話し合う中馬さん(後方)らボランティア(大阪市福島区)

7月1日、大阪厚生年金病院(大阪市福島区)に医学書など300冊をそろえた患者情報室「ラヴェンダー」がオープンしました。応対しているのは可憐な女性たちです。専門知識を生かして患者さんに適切な医療情報を提供したいのだと言います。「ラベンダー」の写真を集めた患者情報室ができました。知らせをもらい、訪ねてみました。

その部屋は病院別館の1階にあり、広さは40平方メートル。ボランティア9人のうち4人が図書です。病室や治療に関する情報を取り調べられるように、冊子の施設は少しずつ増えています。これだけ図書館のボランティアがそろったところは多くはないそうです。中心になって取り組む可憐の一人、中馬恵子さん(28)がどのように迎えてくれました。

「本は元気をくれるから」と、中馬さんは学生時代、病院で読書をしてみたいと考えました。しかし、当時はそんなサービスがなかった。大阪厚生年金病院で患者さんの入院生活のボランティアを始めました。そこで、熱心に本を読む患者さんの姿を白くするうちに、「病院の中で図書サービスがほしい」との思いが高まりました。思いが実現しました。第一歩は実現します。可憐の資格を取り、卒業後、大阪市立大の付属図書館「学術情報総合センター」の医学分館で働くことになりました。

仕事の中心は、医師から次々と寄せられる、専門資料の検索や書籍取り寄せの要望に的確に応えることでした。そんなある時、「血腫について調べたいのですが」と中馬さんが訪ねてきました。患者さんのようでした。わずかなやり取りから、足元の血腫に異常があること、大きな病院に移る前に自分で病気に調べて調べに来たことが分かりました。

「図書ボランティアです。大阪厚生年金病院で昨年12月から、小説などをカテゴリーに載せて週2回、病棟を回り始めました。大好評だった。となどから、患者情報室の開設に向けて病院へ提案をしてきました。」

オープンしてひと月、利用は予想以上に多く、日に20人ほど訪ねます。「情報を求める患者さんの期待に応えるには、まだまだ勉強が必要です。他の患者図書室なども連携し、医療者と患者の橋渡しをしたい」と中馬さんは思っています。

ラヴェンダーの利用は月々金曜の午前9時～午後2時。ボランティアも募集中。問い合わせは同病院06・6441・5445(代)へ。

郵送は〒530・8551(住所不要)読売新聞大阪本社社会部編集。FAX06・6361・3055。Eメールはosaka2@yomiuri.com。

患者情報室 ラヴェンダー 『読売新聞 2005年7月31日(日)』

胃の痛み

体の痛み聞いて効く

一年ほど前から胃が痛みます。食後すぐや空腹時にはなく、子育てに疲れたり、仕事が忙しいときなどに、夕方から深夜にかけてシクシクと胃から背中にかけて痛みが続き、人間ドックで胃酸過多といわれましたが、市販の薬でしのいでいます。故に置いても大丈夫でしょうか。また、痛みをやわらげる方法や日常生活で気をつける点についても教えてください。(奈良県 女性 37歳)



片山和宏部長

「胃が痛む」という場合、本当に胃が悪い場合と、胃ではなく脾臓や肝臓が悪い場合があります。腹部には内臓痛と体性痛という二種類あり、内臓痛は臓器と離れた腹部の真ん中あたりに感じる痛みが多く、体性痛は臓器の痛みが鋭いといえます。特に脾臓のある部分が痛む感じがします。例えは虫垂炎では、最初みぞおちの痛みが鋭くなり、時間とく、背中の痛みの原因にもなり、ともに右下腹部が痛くなる(体性痛)といふ経過をとることも原因はアルコールの飲みすぎも多く見られます。ですから「胃や胆石、または原因がはっきりしない場合、胃と胃以外の両方はない、「特発性」と呼ばれる面から考える必要があります。特発性の中に

脾臓、胆嚢が悪い可能性も

痛みが空腹時や食後ではない場合、むしろ原因は胃以外の可及することが多く、体性痛は臓器の痛みが高いといえます。特に脾臓のある部分が痛む感じがします。例えは虫垂炎では、最初みぞおちの痛みが鋭くなり、時間とく、背中の痛みの原因にもなり、ともに右下腹部が痛くなる(体性痛)といふ経過をとることも原因はアルコールの飲みすぎも多く見られます。ですから「胃や胆石、または原因がはっきりしない場合、胃と胃以外の両方はない、「特発性」と呼ばれる面から考える必要があります。特発性の中に

相談は〒5300-8575 産経新聞社文化部「聞いて効く」係(FAX06・63346・2300)へ。

片山和宏 内科部長 『産経新聞 2005年7月20日(水)』(無断転載不可)

名 医 が 診 断

人にいえない悩みも解決 気になる病の Q&A

Q 40代で糖尿病となり、7〜8年闘病しています。最近、糖尿病網膜症の疑いがあるといわれまして、放置すると失明の危険があるということですが、これまで特に自覚症状がなかったのに驚いています。治療法や予防法を教えてください。

(梅市博愛会社勤務 55歳)

糖尿病網膜症



●大阪厚生年金病院眼科部長
和歌山県立医科大学卒。大阪大学医学部眼科教室入局。大阪市立病院眼科を経て、ペンシルバニア大学シェイエ眼科研究所勤務。大阪大学医学部講師を経て、92年より現職。大阪大学臨床教授、愛媛大学医学部、北海道大学医学部の非常勤講師を務める。日本眼科学会評議員、米国眼科学会会員等。専門は緑内障の薬物、手術治療等。糖尿病網膜症にも詳しい。

桑山 泰明 (53)

A 糖尿病の3大合併症の一つ糖尿病網膜症は、最初は自覚症状がないが放置すれば失明にいたる病気。治療はレーザー治療や手術があり、早い時期であれば視力回復も可能。自覚症状がなくとも血糖コントロールを行ない、眼科の定期検診を受けること。

糖 尿病の3大合併症の一つ糖尿病網膜症は、血糖コントロールを十分しないまま放置していると、数年から10年のうちに発症します。厚生労働省の統計では、糖尿病発病から25年経つ頃には、80%を超える人たちが網膜症を合併しているのです。糖尿病網膜症のために、失明、あるいは社会生活に支障をきたすほど視力を失う人は年間3000人で、緑内障について失明原因が多くなっています。特に、比較的若い40〜50歳以下の糖尿病の人は、進行が早いので十分に注意が必要です。

糖尿病は細い血管が障害を受ける病気、網膜は無数の細い血管が網の目のように分布しているため、もっとも障害を受けやすいのです。初期の頃（単純糖尿病網膜症）は、網膜の周辺部に病変が起こるのでも自覚症状がほとんどなく、血糖値のコントロールがよくなれば改善することもあります。ただし、網膜の中心にある黄斑と呼ばれる視力にかかわる大切な部分に病変が及べば、早くから視力が低下するようになります。

さらに進行すると（増殖糖尿病網膜症）、網膜の細い血管が詰まって、新しい血管（新生血管）ができるようになります。しかし増殖型になっても、初期の頃は自覚症状がほとんどありません。ところが、新生血管は壁が弱くもろいので、突然破れて眼の中に出血することがあります（硝子体出血）。少しの出血ならば黒い影やゴミの様なものが見える症状（飛蚊症）がおこりますが、大出血をおこして眼の中が血だらけになり、突然見えな



ま、新しい血管（新生血管）ができるようになります。しかし増殖型になっても、初期の頃は自覚症状がほとんどありません。ところが、新生血管は壁が弱くもろいので、突然破れて眼の中に出血することがあります（硝子体出血）。少しの出血ならば黒い影やゴミの様なものが見える症状（飛蚊症）がおこりますが、大出血をおこして眼の中が血だらけになり、突然見えなくなった場合は、レーザー網膜光凝固術（レーザーで網膜の一部を凝固する）や硝子体手術（出血を洗い流したり増殖した網膜を剝離することで元に戻す）といった外科的治療が必要になります。其後が現われる増殖糖尿病網膜症の段階では、積極的なレーザー治療が必要です。この療法は適宜は外来で行なえ、痛みもあまりなく、早い時期であれば80%に有効です。時期が遅くなると有効率は50〜60%に低下します。硝子体手術は高度なレベルの手術ですが、手術成績は年々向上し、多くの病眼でほぼ80%の成功率をあげています。レーザー治療が無効であれば、早い段階で手術を受けることが大切です。

糖尿病と診断されたときから定期的な眼科の検査を受け、糖尿病と眼科の適切な治療を続けていけば、糖尿病網膜症は確実に防げるようになります。進行するまで自覚症状がないので、まだ見えるから大丈夫という自己判断は危険です。糖尿病の人は眼の症状がなくても定期的に眼科を受診し、眼底検査を受けるようにしましょう。眼底検査を行えば、ごく初期の小さな出血まで見つけ出すことができます。早期発見であればあるほど治療の成功率は高くなります。（構成/油井晋代子）

患者様への図書サービスだより

ラベンダーの香りたどよう図書室にて皆様のご利用をお待ちしています!

患者情報室
ラヴェンダー

いつも図書サービスをご利用いただきありがとうございます。

おかげさまで、病棟への巡回図書サービスは2005年の12月に2年目を迎えました。

また、患者情報室ラヴェンダーは7月のOPENから半年以上が経過しました。

今回は、ラヴェンダー人気図書とボランティアのご紹介をいたします。

人気図書 3冊のご紹介!

医療図書

- 「病気がみえるVOL.1」(消化管・肝胆膵)
- 「不整脈とつきあうコツ」…………… 佐々木達哉
- 「乳癌治療のインフォームドコンセント」…………… 佐野宗明

一般図書

- 「ふたたびの生」…………… 柳澤桂子
- 「愛の話幸福の話」…………… 美輪明宏
- 「琵琶湖写真集」…………… マツシマススム

ボランティア紹介

2005年に開催されたボランティア・スピリット・アワード(主催:プルデンシャル生命保険(株)・ジブラルタ生命保険(株))でコミュニティー賞を受賞された高校ボランティア、崔さんの受賞作文をご紹介します。



図書ボランティアの皆さん
(後列右端が崔賀英さん)

ボランティア活動について 千里国際学園高等学校3年生 崔 賀英

週に1度入院している患者さんに図書のサービスをしています。

ワゴンのようなものに本や雑誌、写真集、コミックなどを乗せて各階を30分ずつ回ります。ワゴンはエレベーターホールの前に置いて、患者さんやその家族の方が自由に閲覧が出来るようになっています。そしてボランティアが4~5冊程本を持って一つひとつの部屋を回って患者さん一人ひとりに声をかけて図書のサービスを提供します。

ボランティア活動で気をつけている事は、どんなにしんどくても一人ひとりの患者さんに笑顔で話す事です。入院している患者さん達はみんな病気で辛かったり痛い思いをしています。そんな患者さん達に私がしんどそうな顔で話をかけたら患者さん達は余計にしんどい思いをするでしょう。人の笑顔は人を元気にする力があると私は信じています。だから私は患者さん達に少しでも元気が出るように常に笑顔で患者さん達と接するように努力しています。

活動を通じて学んだことは、ボランティア活動がなんて素敵で魅力的な活動であるのかということです。ボランティアをする人とそれを受ける人の両方が幸せな気分になれるのです。仕事ではお金のために嫌々する人もいると思います。ボランティアをする人は自分がボランティア活動をする事によって人々や地域が喜んでくれたらそれで嬉しい気持ちになったり達成感を得られたりします。そしてそれがボランティアを続ける励みになるのです。

またボランティアでアルバイトでは得られない貴重な体験が出来ます。「ただ働き」とよく言われますが、ボランティア活動にはお金より高くても貴重な価値があります。人と接したり、自分が地域に貢献しているという事の大切さ、幸せ、喜びがわかります。また達成感や自信もつきます。大学生になって勉強が忙しくなってもボランティア活動は続けたいです。

(以上、作文より一部抜粋)

全文はラヴェンダーに置いてあります。
また、当院ホームページのラヴェンダーからもご覧いただけます!



病棟にて巡回図書サービス活動中

産科オープンシステム登録医・助産院のご紹介

産科オープンシステムとは、地域の診療所・助産所と病院がよりいっそう緊密に連携し、お産の安全性を高めようとするものです。

医療法人 佐々木産婦人科医院

院長 佐々木 隆

〒547-0012 大阪市平野区長吉六反 3-21-13

TEL 06-6790-1320

FAX 06-6705-3886

診療時間	月 火 水 木 金 土	診療科目
9:00~12:00		産婦人科/内科/小児科
17:00~19:00	- -	往診 無
		休診日 日曜・祝日
		駐車場 有(10台)



アクセス
地下鉄 谷町線「長原」駅より徒歩 10 分



佐々木先生(前列)とスタッフの皆さん

当医院は1978年現在地に産婦人科を開設以来、27年間入院分娩を取り扱ってきましたが、2005年5月より、入院分娩取扱いを停止し、産婦人科、内科、小児科を標榜して、地域のファミリードクターとして、微力ながら、地域医療に貢献したいと思っています。

また、地理的には遠いですが、高木産婦人科部長以下、信頼できるスタッフ、清野院長の進歩的な周産期医療に対する方針に共鳴し、産科オープンシステム登録医として、協力させていただきます。

舟木レディースケアセンター ふなき助産院

院長 舟木 操

〒538-0053 大阪市鶴見区鶴見 3-6-26

TEL/FAX 06-6911-1238

ホームページ <http://www12.ocn.ne.jp/~funaki38/>

e-mail funaki@beach.ocn.ne.jp

診療時間	月 火 水 木 金 土	休診日
9:00~12:00		日曜・祝日
13:00~20:00		駐車場 有



アクセス
地下鉄 鶴見緑地線「今福鶴見駅」4番出口、東へ徒歩3分
市バス「鶴見西口」下車、徒歩1分



舟木先生(前列左)と赤ちゃん、スタッフの皆さん

「愛、手から手へ、心から心へ」をキャッチフレーズに平成13年6月4日・ムーミンの日に開院。

フリースタイル出産、カンガルーケア、母児同室同床、家族ぐるみの診察と出産、家族入院、他院からの産後入院、骨盤ケア、子育ての会(わ・和・輪)など、地域の皆様に喜んでいただいています。厚生年金病院の産科オープンシステムのおかげで、安心して診療ができるようになりました。妊産婦様達にも大変感謝されています。今後も助産院ならではの創意と工夫を重ね、皆様に愛される施設にしてゆきますので、よろしくご支援をお願いいたします。

登録医さん こんにちは

大阪厚生年金病院の開放型病院登録医 のご紹介

開放型病院登録医とは...当院の医療施設・設備を利用し入院治療等が必要になった患者様に当院医師と協力して治療を行う地域の診療所や医院の「かかりつけ医」の先生です。

中央市場管理棟 井上診療所

所長 井上 利道

〒553-0005 大阪市福島区野田 1-1-86 中央市場管理棟 4階

TEL 06-6469-7535

FAX 06-6469-7535

診療時間 月 火 水 木 金 土

9:00~12:00

13:00~15:30



診療科目

内科/皮膚科/外科

往診

無

休診日

日曜・祝日・
市場の休業日

駐車場

有(市場の駐車スペース利用)

アクセス

JR環状線「野田」駅、地下鉄千日前線「玉川」駅より徒歩約12分



井上先生(前列)とスタッフの皆さん

中央市場 管理棟
井上診療所
内科・外科・皮膚科

市場で働く人たちの健康を守るために開設された水産診療所に平成4年4月から勤務しております。業務管理棟の竣工、移転にともない、「中央市場管理棟 井上診療所」と改称しました。

日々市場の人たち、近隣の方々の診療、健診にあたっております。大阪厚生年金病院には各科にわたりお世話になり感謝しております。今後ともよろしくお願ひいたします。

朝日橋 胃腸科・内科・小児科診療所

院長 木下 隆弘

小児科 木下 充代

〒554-0012 大阪市此花区西九条 4-2-26

TEL 06-6462-8710

FAX 06-6463-3863

診療時間 月 火 水 木 金 土

9:00~12:00

17:00~19:00



診療科目

胃腸科/内科/小児科

往診

有

休診日

日曜・祝日

駐車場

有(1台)

アクセス

JR環状線「西九条」駅、阪神「西九条」駅前、下車すぐ



木村隆弘先生と充代先生(前列右から2、3人目)とスタッフの皆さん

当院は内科一般、特に消化器専門に診療しております。特に、胃・大腸内視鏡検査に力を入れており、胃内視鏡は随時予約なしで施行しております。

また4年前、医院を全面改装し、小児科を併設、小児科専門医が診ております。日ごろより年金の諸先生方には大変お世話になり、患者さんともども感謝しております。

これからも病身連携を図りながら、家族みんなで通える地域の診療としてスタッフ一同たゆまず努力していきたいと思ひます。

当院に登録をご希望される
かかりつけ医の先生方へ

開放型病院登録医申請手続きについては、地域医療連絡室までご連絡ください。

TEL.06-6441-5463(直通)

細見医院

院長 細見 基信

〒661-0043 尼崎市武庫元町 1-22-3

TEL 06-6432-5500

FAX 06-6432-5766

e-mail hosomi-iin@nifty.com

診療時間 月 火 水 木 金 土

9:00~12:00

17:00~20:00

は13:00~15:00



診療科目

内科/消化器科/リハビリテーション/通所リハビリテーション

往診 有

休診日 日曜・祝日

駐車場 有(5台)

阪急「武庫之荘」駅より北へ徒歩10分、
市バス・阪神バス「武庫の郷」より徒歩2分



細見先生(左から5人目)と通所リハビリテーションの患者さんとスタッフの皆さん

平成8年4月に開院して10年になりますが、開院当初より登録医となり、平日頃より、診療や各種検査では非常にお世話になっております。大阪厚生年金病院の病診連携システムは、導入当初からの努力と改善の結果が各所に見られ、当院からの紹介患者の厚生年金病院に対する評価は非常に高く、患者さんのことを第一に考え、常に迅速に対応しようとする姿勢は今後も忘れず地域医療に取り組んでいただきたいと思います。今後どうぞよろしくお願い申し上げます。



安田クリニック

院長 安田 晴紀 副院長 安田恵津子

〒554-0002 大阪市此花区伝法 2-5-1

TEL 06-6463-1000

FAX 06-6463-1015

診療時間 月 火 水 木 金 土

9:00~12:30

17:00~20:00



診療科目

整形外科/内科/胃腸科/外科/肛門科/リハビリテーション科

往診 有

休診日 日曜・祝日

駐車場 有

阪神西大阪線「千鳥橋」駅より徒歩5分



安田晴紀先生と恵津子先生(後列右から4、5人目)とスタッフの皆さん

平成9年に私の生まれ育った此花区伝法で開業いたしました。妻と二人で外科、整形外科、内科一般を中心に診療しております。介護保険の相談窓口として居宅介護支援事業所としても活動しております。手術や病状悪化で年金病院に入院された患者さんが、元気になって帰ってこられたとき、貴院の質の高い医療に深く感謝の念を感じますと共に、かかりつけ医としての我々の責任の重さを痛感しております。今後ともよろしくお願い申し上げます。



各種教室

両親学級

問 申 大阪厚生年金病院産婦人科外来 ☎ 06-6441-5451(内線2279)

- 日 程 / 毎月第1、2、3水曜日
- 時 間 / 午後1時30分～3時30分
- 場 所 / 当院2階 第1会議室
- 費 用 / 1,000円(3回分)

腎臓病教室

問 大阪厚生年金病院血液浄化センター ☎ 06-6441-5451(内線2667)

- 場 所 / 当院2階 第1会議室
- 費 用 / 無 料
- 時 間 / 午後1時30分～2時30分
- 方 法 / 事前申込不要、直接お越しください。

開催日	テーマ	対 象	担 当
2月23日(木)	透析療法とは ～医師からのお話～ 「よりよく理解し元気に過ごすために」	透析患者様	横山部長
3月23日(木)	透析療法とは ～看護師からのお話～ 「よりよく理解し元気に過ごすために」		八重看護師
5月25日(木)	腎臓が悪いのかな? 検尿異常を指摘されたら...	検尿異常を指摘され腎臓病が気になる方	医師
6月22日(木)	腎機能が低下しているといわれたら... 慢性腎不全との付き合い方	慢性腎不全の患者様(Cr 2mg/dl以上)	医師
7月27日(木)	腎臓病と福祉制度(社会保障制度)	保存期、透析患者様	MSW

糖尿病教室

問 大阪厚生年金病院内科外来 ☎ 06-6441-5451(内線2274)

- 時 間 / 午後2時～4時
- 方 法 / 事前申込不要、直接お越しください。
7月6日のみ午前11時20分開始、有料、事前申込必要
- 費 用 / 無 料(7月6日のみ有料)

開催日	場 所	テーマ	担 当
3月2日(木)	当院2階 第1会議室	糖尿病だけじゃない生活習慣病 こんなに多い生活習慣病の薬 見直そう! あなたの生活習慣	医師 薬剤師 管理栄養士
4月6日(木)	当院2階 第1会議室	どんな人に必要? 糖尿病の薬 インスリン治療のタイミングを 逃さないで! 薬を服用するときの注意点 知っておきたい糖尿病の検査	医師 薬剤師 医師
5月11日(木)	福島区民 センター	健康講座 “メタボリック症候群!?”	医師 看護師 薬剤師 管理栄養士 歯科衛生士
6月1日(木)	当院2階 第1会議室	治療の基本です! 運動療法 運動の実際と注意点 家庭でできる運動のいろいろ 運動のできる軽装でお越し下さい	医師 運動指導員
7月6日(木)	当院2階 第1会議室	糖尿病の基礎知識 昼食(完全予約制・有料・事前申込必要) 午前11時20分開始 5月より予約センターにて受付いたします	医師 管理栄養士

糖尿病教育入院のご案内

現在日本の糖尿病人口は1,620万人と推定されており、その合併症による弊害(失明、腎不全による透析、脳梗塞、心筋梗塞、足の壊疽など)は大きな社会問題となっております。当院ではこれら合併症の早期発見・早期介入、糖尿病コントロール・教育を目的とした下記の入院を行っておりますので、是非ご利用の程よろしくお願ひ申し上げます。

- 対 象 : 糖尿病患者様

コース	糖尿病合併症評価・ 教育入院	糖尿病教育・ コントロール入院
内 容	糖尿病合併症『細小血管障害(網膜症・腎症・神経障害)、大血管障害(頸動脈硬化症、虚血性心疾患、閉塞性動脈硬化症)』、生活習慣病関連の検査、栄養指導、糖尿病学習	1泊入院の検査項目、腹部超音波検査、糖尿病教育(1週間コース)、糖尿病コントロール
料 金 (3割負担の場合)	約27,000円 (1泊2日)	約70,000円 (1週間)

申し込み・問い合わせ窓口

内科外来もしくは地域医療連絡室

紹介患者様の場合は、地域医療連絡室にご連絡頂くと直接入院(外来受診不要)が可能で、結果説明のための再診も不要です。検査結果はすべて所定の報告書(患者様用と医療者用)を郵送いたします。

福島区民センター は、右ページアクセス図をご参照ください

子どもの健康教室

問 大阪厚生年金病院小児科外来 ☎ 06-6441-5451(内線2283)

- 日 程 / 各開催日、テーマなどについては確定次第、院内に掲示いたします。
- 費 用 / 無 料
- 方 法 / 事前申込不要、どなたでも参加できます。直接お越し下さい。
- 内 容 / こどもの病気の解説に加え、日常生活での病気の対処法・注意点や病気の進行の予防法についてわかりやすく説明いたします。

問 は問い合わせ 申 は申し込みを表しています

外来診療受付時間
8:30 ~ 11:30 (土・日・祝日を除く)
 初診の方は、「紹介状」をお持ちの上、かかりつけ医の先生から初診予約をさせていただきます。

一般病棟面会時間
12:00 ~ 21:00 平日(月~金)
10:00 ~ 21:00 土・日・祝日



かかりつけ医の先生専用 診療・検査予約先

患者様からのFAXお申し込みはできません。患者様はかかりつけ医の先生を通してご予約下さい。

地域医療連絡室 (診療予約)
 FAX(06)6441-0512 TEL(06)6441-5463(直通)

予約センター (検査予約)
 FAX(06)6459-4599 TEL(06)6441-5451(内線2153)

診療科目		
内科	眼科	形成外科
心臓血管外科	放射線科	皮膚科
外科	病理科	産婦人科
整形外科	臨床検査科	神経内科
リハビリテーション科	循環器科	耳鼻咽喉科
脳神経外科	小児科	麻酔科
泌尿器科	乳腺・内分泌外科	歯科・歯科口腔外科
神経精神科	スポーツ医学科	救急部

新生児センター(NICU) 問 小児科当直医
 TEL(06)6441-5451(代)

24時間体制で、新生児の集中治療を行っています。他医療機関からの母体搬送や、新生児搬送入院も受け入れ、地域周産期救急医療の一翼を担っています。

産科オープンシステム 問 かかりつけ医の先生専用

地域診療所・助産所のシステム登録医(かかりつけ医)と当院が密接に連携して、当院にて出産を取り扱い、お産の安全性を高めるシステムです。

女性医師外来 問 医事課
 TEL(06)6441-5451(内線2161)

女性の方は女性医師による診察を受けることができます。
 (診察日) 毎週水曜日(受付時間 8:30 ~ 11:30)
 (診療科) 内科、皮膚科、産婦人科、整形外科、小児科、眼科
 (受付窓口) 医事課初診窓口(番窓口)

申 当外来をご希望の女性患者様は、医事課受付でその旨をお申し付け下さい。

女性がん検診 問 産婦人科外来
 TEL(06)6441-5451(内線2279)

女性医師、女性スタッフによる乳がん・子宮がんのセット検診です
 (検診日) 毎週金曜日 午後2時から

申 完全予約制。院内にある申込用紙で直接お申し込みされるか、お電話で予約センター TEL(06)6441-5451(内線2153)まで事前にお申し込み下さい。(受付時間 平日8:30 ~ 17:00)

乳がん検診 問 乳腺・内分泌外科外来
 TEL(06)6441-5451(内線2271)

乳がんの早期発見にお役立て下さい。
 (診療日) 毎月第4水曜日の午後と、毎週木曜日の午後

申 完全予約制。院内にある申込用紙で直接お申し込みされるか、お電話で予約センター TEL(06)6441-5451(内線2153)まで事前にお申し込み下さい。(受付時間 平日8:30 ~ 17:00)

各科の専門など詳細は<http://www.okn.gr.jp/>でご覧になれます
 診療内容、専門外来に関するお問い合わせは直接各科外来にお願いします

リウマチ外来 問 整形外科外来
 TEL(06)6441-5451(内線2109)

最新の薬物療法から脊椎・関節手術まで患者様の状態に応じて幅広く対応しています。
 (診療日) 要予約: 初診(月曜日)、再診(月・火・木・金曜日)

集中治療室(ICU)

大手術後、院内重症患者様を集中的に治療する部門です。
 救急部と連携して脳・心疾患・外傷の救急患者様等を受け入れ、治療しています。

救急部 問 TEL(06)6441-5451(代)

脳・心血管手術を含め、広く救急患者様を受け付け、24時間手術可能です。
 小児、産婦人科の急患も受け付けます。

スポーツ医学センター 問 (06)6441-5451(内線3101)
 月~土の9:00 ~ 17:00
 E-mail: spo-cen@okn.gr.jp(随時受付可)

健康増進や病気予防を目的とした一人一人に適した運動を、個別に指導いたします。
 安全で効果的な運動を、楽しみながら継続できるように、工夫を凝らしています。

申 完全予約制。センター受付にてあらかじめ、ご予約をおとり下さい。

内視鏡センター 問 TEL(06)6441-5451(内線2191)

消化管の癌やポリープなどの早期発見、早期治療(内視鏡的手術)を目的としています。

申 かかりつけ医の先生からFAX、またはお電話にてご予約後、当日紹介状を持参下さい。胃カメラはかかりつけ医の先生のご予約後、直接検査が可能です。

予 FAX(06)6441-0512 問 かかりつけ医の先生専用

地域医療

病診連携を推進し、地域医療施設とのコミュニケーションを図りつつ、在宅ケア活動を実施しています。

地域医療連絡室 TEL(06)6441-5463 FAX(06)6441-0512

患者様の治療・療養が円滑に施行・継続されるよう、「かかりつけ医」との連携を深めています。

保健福祉事業部 TEL(06)6441-5451(内線2140)

患者様、ご家族の抱えておられる問題点や不安を早期に解決し、在宅医療や看護を支援するため、地域医療施設や訪問看護ステーションと連携を取り合っています。

退院後の療養施設の紹介や、介護支援も行います。また、医療費の相談や福祉制度のご案内も行っています。

人間ドック・脳ドック・肺がんドック 問 ドック相談室
 TEL(06)6441-5451

生活習慣病やがんなどの早期発見・早期治療、発症の予防に役立ち、より健康的な生活をしていただくことが目的です。二日ドックと一日ドックがあります。

申 入院センター TEL(06)6441-5451

問 は問い合わせ 申 は申し込み 予 は予約先を表しています

交通のご案内

JR東西線
 「新福島駅」下車(出口) 徒歩約5分

大阪環状線
 「福島駅」下車、徒歩約10分

阪神電車
 「福島駅」下車、徒歩約10分

市バス
 大阪駅前79 「福島西通」下車
 大阪駅前55 「堂島大橋北詰」下車
 大阪駅前53 「堂島大橋」下車

タクシー
 「大阪駅」より約10分

日本医療機能評価機構認定病院
大阪厚生年金病院 信頼に応える医療

〒553-0003 大阪市福島区福島4-2-78
 TEL(06)6441-5451(代表) FAX(06)6445-8900
<http://www.okn.gr.jp/> E-mail:hs_oosaka@kjp.or.jp
 この広報誌に対するご意見・ご要望は郵送かEメールで広報誌委員会宛まで